

平成 20 年 3 月 17 日

各位

株式会社 西 京 銀 行
取締役頭取 渡邊孝夫

財団法人西京教育文化振興財団の助成金の交付式開催について

西京教育文化振興財団（理事長：渡邊孝夫）の第 18 回目の助成金交付および表彰式を下記により行いますのでお知らせ致します。

当財団は、西京銀行創立 60 周年記念事業の一環として平成 2 年に設立され、山口県の教育・文化・芸術・スポーツの振興に顕著な功績のあった団体等に毎年助成を行っております。

なお、平成 19 年度までの（今回を含む）助成先は 107 先となりました。

記

1. 日 時 平成 20 年 3 月 24 日(月) 午後 1 時 30 分より

2. 会 場 ザ・グラマシー
周南市桜馬場通 3-16
電話 0834-32-5000

3. 交付先

教育部門	山陽小野田少年少女合唱団 団長 松原 秀樹さま
文化部門	陶の道を発展させる会 代表 中村 秀昭さま 浜崎しつちよる会 代表 小茅 ^{こがや} 稔さま ハゼの実口ウ復活委員会 会長 田川 一郎さま
芸術部門	劇団「わ」 代表 亀谷 ^{かめが} 三千代さま
スポーツ部門	山口県山岳連盟ジュニアクラブ 代表 古林 喜明さま

4. 助成金額 総額 170 万円（今回を含む累計 5,020 万円）

以上

◆ 本件に関するお問い合わせ

株式会社西京総研 西京教育文化振興財団（担当 江藤）

TEL 0834-31-1320

財団法人 西京教育文化振興財団第 18 回助成金交付先
(平成 19 年度)

助 成 先 名	住 所	活 動 内 容
(教育部門)		
山陽小野田少年少女合唱団 団長 松原 秀樹さま	山陽 小野田市	小学校 3 年生から高等学校 2 年生までの子供達で構成する合唱団。2006 年国民文化祭に出演するため結成。練習を通じて合唱技術の向上を図り児童情操教育に寄与し、人間関係づくりや地域文化の振興を目指し活動している。 平成 17 年 5 月活動開始 指導員 2 名 構成員 25 名
(文化部門)		
陶の道を発展させる会 代表 中村 秀昭さま	周南市	陶氏及び若山城を中心とした歴史的文化財を活用した地域活性化事業を長年行っている。特に小中学生たちの「ふるさと学習」を積極的に受入れ、歴史的文化遺産の伝承と「陶の道ウオーク大会」等を通じ地域振興に寄与している。若山城顕彰碑の建立、登山道の清掃・整備などにも尽くしている。平成 16 年「美しい日本の歩きたくなるみち 500 選」に認定される。 平成元年活動開始 指導員 7 名 構成員 30 名
浜崎しっちゃん会 代表 子茅 稔さま	萩市	江戸時代から昭和初期にかけて萩市の繁華街（商人の町）であった浜崎地域に残る、歴史的資源を保存利用し、まちおこし活動を展開。貴重な歴史的景観を維持し、往時の活気を少しでも取り戻す活動を行っている。毎年 5 月にイベント「浜崎おたから博物館」を開催し大変賑わっている。 平成 10 年 2 月発足 構成員 73 名
ハゼの実ロウ復活委員会 会長 田川 一郎さま	熊毛郡 田布施町	防長四白政策のひとつ「ロウ」を江戸時代と同じ製法でハゼの実からロウを搾りだし、伝統文化の継承と地域の活性化を図っている。地域住民参加型の体験学習や教育機関との交流活動など活動の輪を広げている。「たぶせ和ろうそく」の名で販売もしている。 平成 9 年 11 月発足 指導者 7 名 構成員 25 名
(芸術部門)		
劇団「わ」 代表 亀谷 三千代さま	周南市	過疎化しつつある周南市鹿野地域において、自ら企画し自らキャストやスタッフとして参加することにより希薄になりがちな人間関係の絆作り、また親子、隣近所の絆作りを目指している。平成 14 年の旗揚げ公演以来毎年演劇を公演。毎回 300 人の観客を迎えており年々地域に受け入れられている。鹿野地域での地域活動の担い手となれる人材育成にも貢献している。 平成 13 年 9 月結成 構成員 15 名
(スポーツ部門)		
山口県山岳連盟ジュニアクラブ 代表者 古林 喜明さま	宇部市	山口県山岳連盟内組織。クライミングを通じて健全な身体及び精神の育成と相互交流が目的。3 年後（平成 23 年）の山口国体上位入賞をめざして活動中。平成 19 年 8 月の第 10 回ジュニアオリンピックカップにおいて優勝するなど目覚ましい活動が評価される。平成 19 年度ユース強化選手に 3 名が選ばれる。 平成 15 年設立 指導者 2 名 構成員 31 名